大石田低温倉庫が完成

JAみちのく村山 集出荷、検査効率化

大石田低温倉庫の完成を祝ってテープカットする関係者＝大石田町

JAみちのく村山（折原敬一組合長）が大石田町桂木町に整備していたコメの「大石田低温倉庫」が完成し16日、現地で竣工式が行われた。町内初の設備で、集出荷と検査・保管の効率化を図る。

鉄骨造り平屋で延べ床面積852平方メートル。西部すいか選果施設の東側に整備した。玄米約1800トンの収容能力があり、保管に最適な15度で管理する。総工費は約2億2千万円。国の中山間地域所得向上支援事業として1億1051万円、町から884万円の補助をそれぞれ受けた。

同JAによると、町ではコメの保管管理に苦慮し、低温倉庫は必要不可欠な設備だったという。式には約40人が出席し、折原組合長は「今後の大石田の農業発展と米作りに生かされると確信している」とあいさつした。

（玉虫秀明）